

Title	執筆者紹介
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1987
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.57, No.2 (1987. 9) ,p.168(336)- 168(336)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19870900-0168

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文審査担当者

主査 慶應義塾大学教授 和田博徳
 副査 慶應義塾大学教授 可児弘明
 副査 東京女子大学教授 山根幸夫

〔附記〕

なお本論文の著者の学力確認は慶應義塾大学の伊藤清司教授および私が担当した。伊藤教授ならびに副査の可児・山根両教授に対し、茲に記して謝意を表する。

(和田博徳)

は、他の諸条件が集積したと考えるべきではなからうか。本論文においても明末に白蓮教と土司とが結びついた反乱あるいは清末に青蓮教と会党とが連合した反乱について述べているが、更になお民間宗教結社の活動が支配権力に対する反乱として具体化されて行く過程で要因となった政治・経済・社会その他の諸条件を教義などと併せて一層深く追究することが望まれるであろう。しかし、これは勿論いわゆる望蜀の言であって、本論文の優れた成果を左右するものではない。

上記の如く、本論文は各種の文献から蒐集した数多くの関係史料を用いて、明清時代民間宗教結社に関する幾多の重要問題を解明したものであり、極めて高く評価されるべき研究であると考えらる。

以上の審査結果として、本論文の著者浅井紀氏は、文学博士の学位を受ける資格があるものと認定する。

昭和六十二年三月七日

執筆者紹介

村山光一 慶應義塾大学文学部教授
 宮崎洋 慶應義塾大学商学部教授
 戸沢行夫 東京歯科大学助教授
 原信芳 フェリス女学院短期大学講師
 埼玉県立衛生短期大学講師
 大嶽卓弘 神奈川県立汲沢高等学校教諭
 神奈川県立汲沢高等学校教諭
 中野高行 東京農業大学第三高等学校嘱託講師